



令和五年 亀崎潮干祭 “四年ぶりの浜曳き”

■5月3日(水)・4日(木)の2日間に渡り、四年ぶりとなる浜曳きとなった「亀崎 潮干祭」が盛大に行われました。私は、昨年に引き続き、祭の神事に参加させていただきました。神聖なる場で肅々と執り行われる神事を目の前にして、300年もの長きにわたって受け継がれてきた祭の風格・伝統を心で感じることができました。また、今年は四年ぶりとなる山車の浜曳きが行われ、勇壮な祭を目の当たりに、祭り人の勇敢で壮大な姿に心揺さぶられる体験となりました。5輦の山車が潮の干いた浜に一同に揃う姿が本当に勇壮で華麗でありました。3日・4日の両日ともに素晴らしい晴天のもとで開催することができたのも、きっと四年ぶりとなった浜曳きの潮干祭を待ち望んでいたみなさんの思いが天に届いたのだと思います。山車を曳く子、太鼓や笛でお囃子を奏でた子、そしてお巫女さんの子、たくさんのかめっ子たちの姿を見ることができました。



■また、2日(火)は、祭の前日にもかかわらず、3年生の総合的な学習として、5つの組の「サヤ」を見学させていただきありがとうございました。子どもたちのために、「潮干祭のこと・どうして浜曳きが行われているのか?」「各組の山車の彫刻や装飾の特徴・からくり人形にまつわる話」など、分かりやすく伝えていただきありがとうございました。子どもだけでなく、教職員も潮干祭について直接話を聞かせていただき、改めて興味を抱くことができました。本当にありがとうございました。



令和5年度 児童会スローガン決定！

■今年度の児童会スローガンが決定しました。そのスローガンは、「かめっ子ABCを大切に 明るい笑顔輝く亀小へ」となりました。このスローガンには、かめっ子みんなの笑顔が明るく輝くよう、みんなで「あいさつ・絆・整える」を柱に、かめっ子レンジャー隊たちの「花、歌、汗、あいさつ、防災、勉強、思いやり」の6つを大切にしていくという思いが込められています。

■今年1年、(A)当たり前のことを(B)なかにしないで(C)ちゃんとやる！かめっ子ABCを合い言葉にみんなの笑顔輝く亀小にしていきたいと思います。



令和5年度 亀崎小学校運動会 まもなく！

■毎年10月に運動会を行っておりましたが、新校舎改築の工事の関係で、今年は6月3日（土）に開催いたします。学校では、運動会に向けて練習にも“熱”が入っております。先日、児童会から募集があった“運動会スローガン&プログラム表紙絵”の大賞の発表がありました。

スローガン『もえる炎と光るかみなり』力を合わせて、前進め！！（6年生：柴田雪菜さん）に決定しました。5月に入って、30℃越えが続く異例の暑さの日もありました。適度な休憩、こまめな給水を取りながら熱中症対策に努めてまいります。暑さの状況によっては、若干のプログラムの時間変更も検討しながら、暑さ対策を講じてまいります。つきましてはテトル等にて、変更のお知らせをさせていただきます。



<3・4年生 ソーラン節練習風景>

サクランボとさくらの実？

■亀崎小学校には、さまざまな樹木が校庭に植えられております。そのおかげで、亀小には四季折々の花や実、果実を見ることができ、大変喜ばしく思います。春先には、満開となった桜も4月早々に葉桜となりましたが、この5月に入って、桜の木が赤い紫色した「小さな実」を付け始めています。ちょうど一年前、亀崎幼稚園の年長さんがさくらの実「サクランボ」をちぎりに来たことを思い出します。桜の木に小さな実がなること自体を知ったのが亀小に来て初めてでした。家の近所の桜の木や道路沿いの桜の木に実をつけたことを正直見たことがありませんでした。（※もしかして、意識したことがなかったのかも？）そして亀小2年目、桜にはサクランボの小さな実がなることを学び、その意識で校庭内を歩いているとスーパーで売られている「さくらんぼ」と同じ実がなっている桜の木を見つけ感動したところでした。もぎって口にしてみると、高級果実のさくらんぼ味がしました。これまた感動したところでした。ただし、このさくらんぼがなる木はソメイヨシノの桜の木ではなく、「実桜」「桜桃」の桜の木だったのです。校内でさくらんぼがなる実桜は、1本しかありませんでした。大変貴重ということで、場所については教えることができませんので、あしからずご了承ください。また、ソメイヨシノやヤマザクラの桜の木に実をつけるには、ある条件が必要であることも後ほど知ることができました。亀崎小には、まだまだあまり知られていない樹木が植えてあります。昨年初めて知った「タイサンボク」が最近になって、白い花が開花し始めており、もう初夏が近づいていると実感したところでした。

